

# 三田わくわく村の世界 PART III

三田わくわく村は三田市内で平成9年に開設した多機能型障害福祉サービス事業所です。この施設を利用されている皆さんが就労支援事業活動や機能訓練を通じて、日々培われてきた成果を活かして個性豊かな作品を制作し、10月18日(月)~29日(金)の期間(9時~17時)共生センター内のギャラリーで本年も展示させていただきますこととなりました。作品展示を通じて三田わくわく村の世界観を是非体感していただきたいと思ひます。



昨年度の展示

また、紹介パネルを通じて三田わくわく村が運営している4事業所での活動内容など、日々様子をご覧いただければ幸いです。

皆様、是非見に来てください。



緊急事態宣言のため各事業所の展示等はZoomにて会議をおこないました。



有馬富士共生センター

## お楽しみデザート

ほとんどの行事を今年も自粛していますので、施設からハーゲンダッツアイスクリームをプレゼントしました。6種類の中から一つ選んでもらいましたが一番人気はクリスピーチップチョコレートでした。



みんな笑顔で頂きました。

## 製菓販売にご協力ください

今年度、製菓班では「脱！商品マンネリ化」を目標にかかげ取り組んでいます。

なかなか、新商品を出す事が難しい現状では

ありますが、枝豆を使用した商品の開発やパッケージ変更で、季節感を出しながら皆様の手に取っていただけるよう工夫しています。



ハロウィンの飾りつけをしたパスカル三田

大原製菓では9月半ばからハロウィンのパッケージに変わり、作業する利用者さん職員共にかわいい袋にちょっとウキウキ気分でお志手原製菓では、オバケ型でオバケクッキーの生産に気分を上げながら☆作業しています。

パスカルの売り場もハロウィンになりましたので、お立ち寄りの際は是非チェックを！！



ドーナツ

1個 100円

オバケ型クッキー

1袋(3枚入り) 100円

### これからの予定

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、引き続き多くの方が集まる催しは中止します。

# わくわく通信

発行 社会福祉法人 風  
障害福祉サービス(多機能型)  
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5  
(TEL)079-564-0909  
(FAX)079-564-8500  
(e-mail) [sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp](mailto:sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp)  
(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

## 新しい仕事に挑戦しています

.....農福連携事業への取り組み.....

授産作業を取巻く環境は、コロナ禍で大変厳しい状況が続いています。このため、各事業所では、新たな施設外就労先や施設内作業を拡大し、利用者の皆様の工賃増に向けて取り組んでいます。この様な中、本年6月8日、三田市・JA兵庫六甲・市内障害者施設の3者で「市内農福連携会議」が発足し、当面、①枝豆の枝葉収穫と搬送 ②枝豆を活用した製菓等の研究 ③三田の特産物を活かしたその他の連携事業の検討を始めています。



枝豆刈込



軽トラへの積み込み

枝豆収穫作業は、天候によって大きく左右される作業ですが、作業能力等を考慮した仕事設計が可能であること。自然の中で身体的・精神的にプラス効果があること。一般就労への移行につながる。等の観点から、本町事業所・すずかけ台事業所が、7月20日をスタートに7月1回、8月4回、9月3回の作業を大雨と酷暑という予期せぬ試練の連続でしたが、無事に作業を受託することができました。また、10月は枝豆収穫の繁忙期になるため、更なる受託作業の拡大に挑戦します。



加工・開発に挑戦



試作品

(黒入りシフォンケーキ)

枝豆選別



次に、新しい枝豆を生かした製菓の開発では、これまでの商品とは違った物を・・・と考えています。例えば、シフォンケーキや甘くないおつまみ系クッキーです。枝豆は焼くと固くなり扱いが難しい材料です。今後も試作を繰り返しながら皆様に喜んでもらえる商品の開発を目指します。



# 新型コロナウイルス感染

## ●第5波感染拡大への取り組み●

4度目の緊急事態宣言が9月末まで延長され、利用者保護者様も心配の中で過ごされていると思います。わくわく村の活動においても外出活動、外部ボランティア活動の延期、入浴利用の縮小、活動グループの細分化（密を避ける取り組み）等、感染防止対策のさらなる徹底を行う状況となっております。



手洗い場に設置の自動噴出ハンドソープ

ワクチンの供給量が増え、多くの人々が接種できる環境となり、当施設においても職種優先接種により職員の88%が接種（2回目まで）を済ませています。

ワクチン接種により、コロナ症状の軽減、重症化を予防する効果が期待できます。しかし、100%予防することは出来ないためマスク着用、石鹸手洗いや手指アルコール消毒、3密回避の予防は必要不可欠です。

### 濃度調節可能なオゾン発生器

無症状や軽症のコロナ陽性者が増え、日々の健康管理だけでは早期に発見することは困難です。しかし障害福祉サービスは接触が必要なため、職員（パートを含む）に対して県の全額公費負担による新型コロナウイルス病原体検査を実施いたしました。8月、9月と検査した者すべて陰性でした。

今後も県や市内の感染状況を踏まえて、随時検査を行い、感染拡大防止に努めて参ります。



病原体検査キット

## より質の高い支援サービスの提供に向けて(第三者評価制度)

### ●第三者評価とは

サービスを利用する方々が自分にあった質の高いサービスを選択するために、提供されるサービスの質や経営の内容についてわかりやすい情報が求められています。また、事業者が利用者主体のサービスを提供し、その質を高めていくことも重要です。その時に、利用者でも事業者でもない第三者の目で、一定の基準に基づきサービス进行评估し、結果をわかりやすく情報提供して行くことが必要になります。その為の仕組みが第三者評価事業です。

### ●受審の目的

実施しているサービスの「良い点」と「課題点」を明らかにし、継続的にサービスの質の向上に取り組み、利用者にサービスの選択に資する情報を提供することです。

今年度は大原事業所の生活介護事業を対象に実施します。保護者の皆様には、アンケート（匿名）を9月下旬に配布済です。回答は事業所を通さず、評価機関へ直接郵送する形のもので、回答がまだの方は、今からでも構いませんので是非ご協力をお願いします。評価結果で今現在の施設の課題を見つけ、より良い支援、より良い施設作りに繋げていきたいと思っております。

# 令和3年 三田市民文化祭

## 大原事業所・生活介護

全員がそれぞれ個性豊かな作品を作りました。



ひまわり

柿

風鈴

花火

ミノムシ

## 大原事業所・放課後等テイスサービス

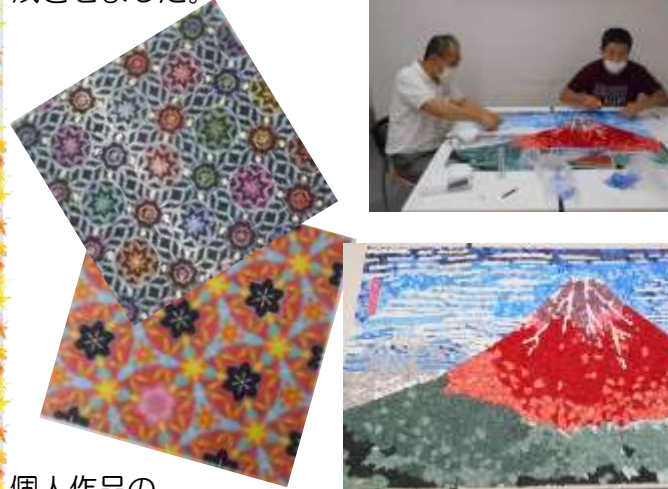
いつかぶどう狩りに行きたいなーと思いを込めて折り紙を切って丸めてそれぞれ自分のぶどうを作りました。



自分の手形を取ったかわいいミノムシ

## 本町事業所

合同作品は貼り絵に取り組みました。作品は葛飾北斎の赤富士を参考にして制作しました。利用者さんが下絵を描き、全員で貼り絵を完成させました。



個人作品のスクラッチアート

完成した貼り絵

## 志手原事業所

新型コロナウイルスの影響で、余暇活動にも制限がかかり楽しい時間が減ってしまった中で作品制作の時間は唯一皆が楽しめる時間でした。



秋と言えば・・・栗！！いろいろな栗が勢揃い。

それぞれが好きな絵を描いて一つの作品に仕上げました！

## すすかけ台事業所



自立訓練 綿棒・ボンドで立体的な作品

就労継続支援B型 お面の色塗り



生活介護 色紙で貼り絵



## 職場を変わって想うこと vol.1

令和3年4月から志手原事業所の所長補佐に任命されました。本町事業所、大原事業所を経て志手原事業所にやってきました。

志手原事業所は女性の利用者さんが多く、休み時間には女子会でトークが開催されるなど、今までに見たことの無い光景が見れてうれしく思い、私は邪魔をしないように見届けております。

また男性の利用者さんは休み時間に音楽を聴いたり、パズルをするなど好きな時間を過ごされています。

みなさんととても素敵な笑顔で過ごされており、その笑顔が継続できるように、そして毎日事業所に行くのが楽しいと言ってもらえるような事業所にしていきたいと思っておりますので今後共々よろしくお願いいたします。